

事務事業名	市道阿用停車場線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	工務G	課長名	森田 一
施策名		(07)道路網の整備	担当者名	内田貴宏	電話番号(内線)	0854-40-1063 3740
基本事業名	(018)生活道路の新設・整備	予算科目	会計	款	項	目
			01	40	10	1503
					中事業	起債道路整備事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(23年度～26年度)	本事業は奥出雲町および久野・阿用地区から大東町の市街地へアクセスする道路であり、雲南市立病院へのアクセス道路でもある。 また、阿用地区においては、生活道路として地域の方に利用されており、小中学校の通学路としての機能も有している。以前より、地元から改良の要望が強く、近年、事故が続いたことにより、早急に整備する必要が生じた。今回の整備区間は、カーブが連続する区間の400mで、既に整備された区間と合わせ、2車線片歩道で計画する。	以前より地元要望があった道路であるが、近年事故が続いたこともあり、車両の安全性の確保が早急に必要であると認められた為

(2)トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業費の内訳(概要)	国庫支出金	千円			11,999			11,999
	県支出金	千円						
	地方債	千円				11,000	10,000	31,000
	その他	千円						
	事業費計(A)	千円	0	0	11,999	11,000	10,000	42,999
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人			2	2		
	延べ業務時間	時間			100	100		
	人件費計(B)	千円	0	0	394	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	12,393	11,000	10,000	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	<ul style="list-style-type: none"> 用地測量業務 用地取得、物件補償 道路改良工事 舗装工事 	⑤ 活動指標							
② 24年度計画(24年度に計画している主な活動)	道路改良工事	ア 道路改良区間延長	m			160	100	100	400
		イ 供用開始延長	m			160	100	100	400

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	市民	⑥ 対象指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		ア 市民	人			41159	41032		
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	安全にすれ違いができ、スムーズに通行できるようにする。	⑦ 成果指標							
		ア 改良済延長	m			160	100		
		イ 供用済延長	m			160	100		
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	⑧ 上位成果指標							
		ア 道路改良率	%			55.9			
		イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合	%			55.7			

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
以前より地元要望があった道路であるが、近年事故が続いたこともあり、車両の安全性の確保が早急に必要であると認められた為	H23年度は国庫(経済対策)で、H24年度以降は過疎債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	地元の協力体制が整っている為、スムーズに事業が進捗している。

事務事業名	市道阿用停車場線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 車両の走行性が向上することは、安全で利便性の高い道路の整備につながっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 道路認定されている道路である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市道認定されている道路であるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 工法は設計の段階で比較検討し、経済性のよい工法を採用している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 現況は道路幅員が狭く安全性の確保が困難である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 本路線では、過疎債を充当して実施しているが、これ以上有利な財源がないことまた、この起債も箇所別であるため、統合することはできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 工法は設計の段階で比較検討し、経済性のよい工法を採用している。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 関係機関及び用地等の関係者と密接に関わる必要があり、個人情報等も多く含まれるため不可能である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市道認定されている道路である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	財政上の都合により複数年度にわたり工事を実施したことにより、道路利用者に対し通行規制等の不便が多く生じてしまった。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
従来どおりの事業を行うには、過疎債の借入を受けることが必要である。																							